

一金七拾九圓九拾貳錢也
 一金拾圓〇八拾七錢也
 一金百拾壹圓參拾五錢也
 一金拾四圓貳拾八錢也
 一金百六拾圓也
 右滞在費、自一月二十三日起至二月二十四日 委員會ノ承認ヲ經テ支出ス
 横濱委員滞在費
 自九年十一月二十六日開小計
 至十年十二月二十一日小計
 自九年十二月二十一日小計
 至十年一月二十一日小計
 自九年一月二十一日小計
 至九年二月二十一日小計
 自九年三月十六日小計

右之通ヲ相違無之候也。
 以下三月十四日ヨリ榮町創立事務所ノ會計ニ移ル
 大正十年三月二十六日

神戸市榮町六丁目 六榮館内

日本海員組合創立事務所

拜啓 來る六日午後一時實行委員總會を開き發會式に關する諸般の協議を遂げ其の席上に於て檜崎組
 各長の意見を發表せらるゝ事に相成居候に付き萬障御免合せ御出席相成度此段御通知申上候
 大正十年四月四日 日本海員組合創立事務所
 四月二日機關部同盟會專務理事神谷乙吉氏より同會理事福森庄太郎氏理事辭任ありたるに付き同氏に

日本海員組合創立委員協議會

大正十年四月六日午後二時開會

於日本海員組合創立事務所

- 一、組合長代理都竹要次郎氏より組合長としての意見の發表及び挨拶ありたり
 - 二、醍醐、宮崎兩氏より共同救濟會本部に交渉願末の報告あり
- 協 議 事 項
- 一、日本海員組合創立に關する一切の件
 - 一、共同救濟會より合同の延期申込に關する件
- 右龜井司氏に内交渉を一任する事として午後四時半閉會せり

出 席 者

- 檜崎組合長代理 都竹 要次郎
- 副委員長 濱田 國太郎
- 副委員長 龜井 司
- 委 員 神谷 乙吉